

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 27 年度第 1 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 27 年 10 月 20 日(火) 11:00 から 13:00 まで
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会会議室
III. 参加者：田宮委員長、竹内委員、中村委員、及川委員、家本委員、山本アドバイザー、
Skype：朽尾委員、渡辺アドバイザー、
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

1. 昨年度のアナケート含めた研究講習会結果の感想

- ・ 教材作成コースは、Prezi と電子書籍で興味や取り組みが分かれた感じを少々受けた。
- ・ LMS コースは、個別研修ではないことからレベルをある程度のところで抑える必要があり、細部につきつめるほど各大学の状況からすると持ち帰れなくなることが懸念されることは数種類ある LMS を統一して研修する課題ではある。
- ・ 双方向コースは、経験などから事前知識の幅が大きかったようで、何か事前学修で理解いただく必要があるか。戸惑いが感じられたためグループ演習の進め方は徹底する必要がある。

2. 今年度のコース内容の方向性

- ・ 本年度の開催は、大阪経済大学を会場に 2 月 24 日～26 日で開催することにしたが、後日講師の関係で日程を 25 日～27 日に変更することをメールで確認を行った。
- ・ 教材作成コースは、そのままの形で継承することにした。
- ・ LMS コースは、継承することにしたが以下の意見があった。Moodle に特化することなく LMS 全般をイメージさせること。最初に LMS のコース設計の仕方を行うか。同じコースの各コマをそれぞれの先生で分担して作成してもらい、教員・学生 ID 利用から他の方も参照できることではどうか。授業をを組み立てる中で LMS をどのように使うか。
- ・ コースの開始時は、講義で LMS と双方向は合同で実施する。
- ・ 双方向コースは、アクティブ・ラーニングや反転授業を含め授業を作成する部分の講義から始めシナリオ作成に進める。関連して以下の意見があった。
- ・ シラバス、学生の関与、ルーブリック含めたストーリーシナリオの作成演習が考えられ、演習の進め方では着地点を細かく設定して 1, 2, 3 などして段階を区切って進めてはどうか。
- ・ 反転授業を文系のイメージで説明する必要がある。
- ・ 知識を活用する授業デザインとしてチームでの教え合い学び合いの教育。テーマについてはグループで考えさせ、段階的にルーブリックでの評価とその作り方。体験型授業などを考えてはどうか。
- ・ 知識を組み合わせるイノベーションに貢献する授業について。
- ・ なぜから何の知識へ変わっていくのか、どのように学生に問題意識を持たせるのか。初年次教育から意識づけが必要か、いかに失敗をさせるのか。
- ・ 学生にその日の授業目標を示すこと、具体的に示すことが必要ではないか。
- ・ 演習それぞれの到達目標を着地点として確認してはどうか。
- ・ 知識・技能・態度の定着のためのアクティブ・ラーニング、知識・技能・態度の活用の授業設計、知識・技能・態度を組合せ・創造するための授業設計が求められる。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回は開催要項の確定に向け、11 月 21 日に委員会を開催することにし、各コース内容を検討することにした。